

# 本委員会の進め方について

## ○目的

平成30年9月に発生した台風21号や北海道胆振東部地震のようなこれまで経験したことがない自然災害が発生した場合においても我が国の航空ネットワークを維持し続けることができるよう、主要空港の機能の確保等のための対策について検討する。

## ○対象空港

(1) 航空輸送上重要な空港 13空港 ●

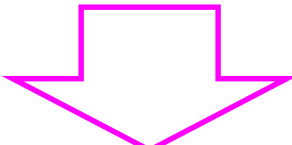
(成田、羽田、関西、中部、新千歳、福岡、那覇、新潟、仙台、伊丹、広島、高松、鹿児島)

→地震、津波、強風、豪雨、停電等、既往災害対策の検証

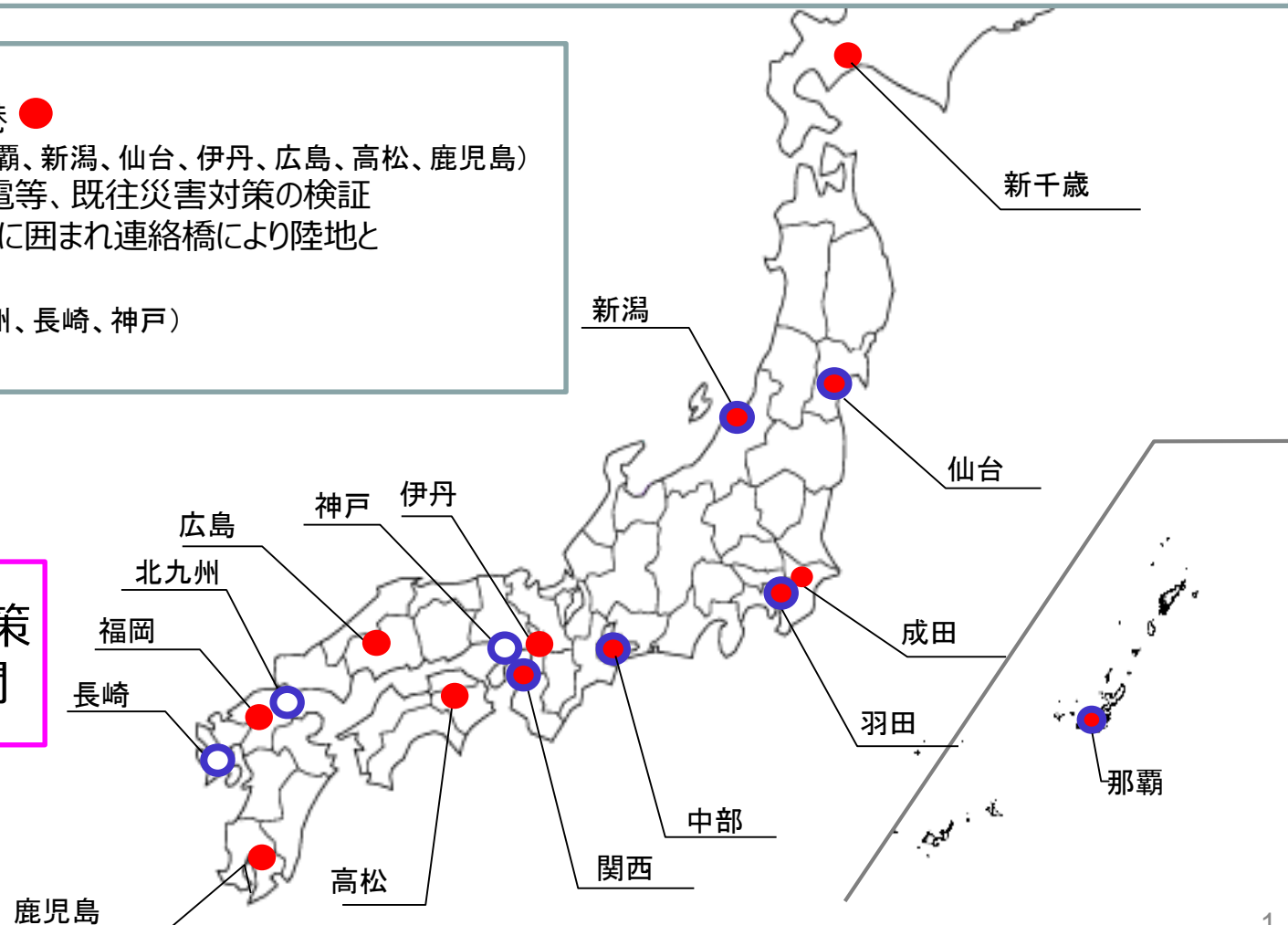
(2) 沿岸部に位置、あるいは四方を海に囲まれ連絡橋により陸地と接続している空港 9空港 ○

(羽田、関西、中部、那覇、新潟、仙台、北九州、長崎、神戸)

→既往の高潮対策の検証



検証結果を踏まえ、新たな対策を検討し、全国の空港に展開



# 本委員会の進め方

- 本委員会では、今後の大規模自然災害対策の基本的あり方について検討した上で、具体的方策を全国の空港に展開。
- 政府が進める「重要インフラの緊急点検」結果を踏まえた対応方策を11月末にとりまとめることとなっていることから、本委員会では緊急点検に関する事項(ハード面)を優先して検討。
- 旅客対応や情報発信、事業継続計画(BCP)のあり方をはじめとするソフト面についても検証し、関西国際空港や新千歳空港での事例を踏まえ、全国の主要空港に効果的に展開するための方策を検討。

委員会の進め方(イメージ)

年月	18.10	18.11	18.12	19.1	19.2	19.3	
委員会	第1回 ● 10/2	第2回 ● 10/16	第3回 ●	第4回 ●	第5回 ●	●	
		中間とりまとめ		必要に応じて数回実施			とりまとめ
作業	重要インフラの緊急点検		関係者へのヒアリング(必要に応じて実施)				
アウトプット	今後の大規模自然災害対策に関する基本的あり方						
	ハード面の緊急対策の検討		中長期的な視点に立っての検討				
	種々のソフト対策						

(参考) 関西エアポート  
災害対策タスクフォースーBCP再構築に向けてー

タスクフォース	テーマ(検討事項)	内容	スケジュール
<p>護岸 タスク フォース</p>	<p>冠水・浸水被害に影響を与えた護岸の状況を分析し、今後の対策について検討する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学識者等による第三者委員会「台風21号越波等検討委員会」を設置(第1回10月3日開催)し、浸水および冠水について、発生時の空港島周辺の海象状況や越波等を検証する。</li> <li>2. 第三者委員会の検証結果をふまえ、今後の復旧や防災対策を検討する。</li> <li>3. 上記について国と連携を図る。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>委員会メンバー (有識者)</p> <p>平石 哲也 京都大学防災研究所 教授            森 信人 京都大学防災研究所 准教授            河合 弘泰 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海洋情報・津波研究領域長            坪川 将丈 国土技術政策総合研究所 空港施設研究室長            山路 徹 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 構造研究領域長</p> <p>(オブザーバー)</p> <p>三宅 正寿 国土交通省航空局 官房参事官(空港)            梅野 修一 国土交通省航空局 空港技術課長            魚谷 憲 国土交通省航空局 大阪航空局空港部長</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 立ち上げ 9月19日</li> <li>• 中間報告 10月下旬</li> </ul>
<p>地下施設 タスク フォース</p>	<p>受配電機器や排水ポンプ等、地下に設置されている重要施設を検証し、今後の対策について検討する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1ターミナルビル電気設備の地上化の検討</li> <li>2. 第1ターミナルビル地下施設の浸水対策の検討</li> <li>3. 島内の地下重要施設の洗い出しと浸水対策の検討</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 立ち上げ 9月19日</li> <li>• 中間報告 10月下旬</li> </ul>
<p>危機対応 (管理)体制 タスク フォース</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 問題点の洗い出し、検証</li> <li>• 危機管理のあり方、今後の構想</li> <li>• お客様、空港内事業者等への情報発信</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予防(日常オペレーションからの危機管理対応の強化)             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3空港のバックアップ体制を踏まえたオペレーションセンターの機能強化</li> <li>• KAPグループ全体での危機管理体制の再構築</li> </ul> </li> <li>2. 減災・緊急対応(お客様対応含む)             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 空港内事業者その他関係機関との連携強化</li> <li>• お客様(多言語対応含む)への広報・案内</li> </ul> </li> <li>3. 早期復旧(空港機能の回復)             <ul style="list-style-type: none"> <li>• インシデントごとの復旧計画の策定</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 立ち上げ 9月20日</li> <li>• 中間報告 10月下旬</li> </ul>